

CPAP療法について

睡眠時無呼吸症候群

- 私達は、1日におよそ**8時間の睡眠**をとって生活しています。
- 睡眠は、昼間の活動で疲れた**体と脳を休息**させるためのとても重要な時間帯で、睡眠が十分にとれない状態が続くと、「**眠い**」「**疲れた**」というだけでなく、**さまざまな悪影響**を及ぼすようになります。



睡眠時無呼吸症候群

SASについて



- SAS(Sleep Apnea Syndrome,睡眠時無呼吸症候群)は、眠っているときに**無呼吸状態**になる病気です。
- 無呼吸状態とは、**呼吸が10秒以上止まっている**ことを指し、この状態が**1時間あたり5回以上**あると睡眠時無呼吸症候群（SAS）となります。
- SASでは、体に取り込まれる酸素の量が少なくなって、**さまざまな臓器に障害**をもたらす上に、日中に眠くなり活動が低下するなど、社会生活にも影響を及ぼすようになります。

CPAP療法

CPAPとは

- スクリーニング検査でAHI（睡眠時無呼吸指数）が20以上ある患者さんには、CPAP治療が推奨されています。
- CPAPとは、鼻や口に装着したマスクから空気を送りこむことによって、ある**一定の圧力を気道にかける方法**です。
- Continuous Positive Airway Pressureの頭文字をとってCPAP（シーパップ）と呼びます。



当院のサポート体制

CPAP専門外来（SASセンター）

- 当院では毎月、患者さんのCPAPの使用状況をモニタリングし、最適な処方やマスクで無呼吸を治療することはもちろん、快適に使っていただくための様々なアドバイスをを行う体制を構築しています。
- CPAPに慣れて、良い結果が出るまでの間は毎月来院（対面診療）して頂き、その後は遠隔診療（ただし3ヶ月に1回は対面診療必須）に移行することも可能です。

